

## 7月27日 フィリピン諸島、ルソンの地震

2022年7月27日09時43分（日本時間、以下同じ）にフィリピン諸島、ルソンの深さ46kmでMw7.0の地震が発生した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解、速報）は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日10時00分及び10時33分に北西太平洋津波情報を発表した。また、同日10時35分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。また、この地震により、死者11人等の被害を生じた。

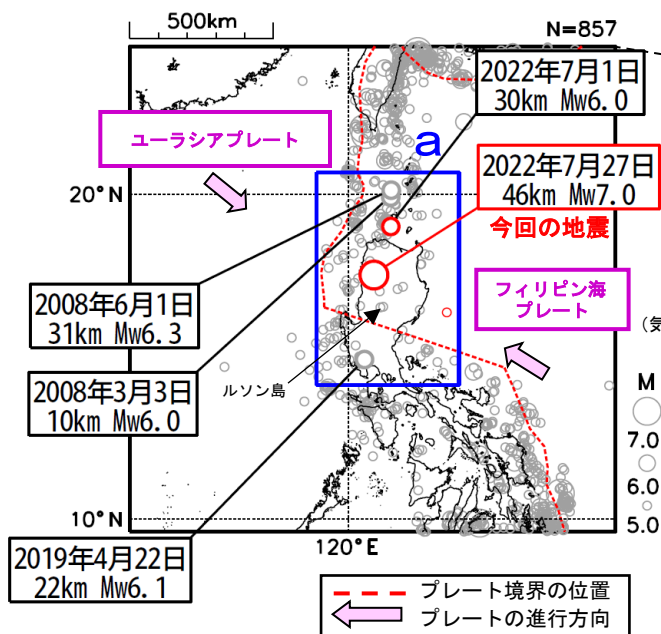
2001年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.5以上の地震が時々発生している。

1970年以降の活動をみると、フィリピン諸島周辺（領域b）では、M7を超える地震が時々発生している。1976年8月17日に発生したM8.0の地震では、この地震による津波が発生したほか、死者8000人の被害が生じた。

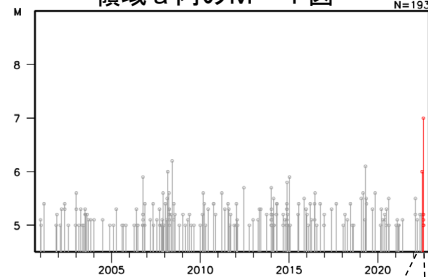
震央分布図

(2001年1月1日～2022年7月31日、深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )

2022年7月の地震を赤く表示



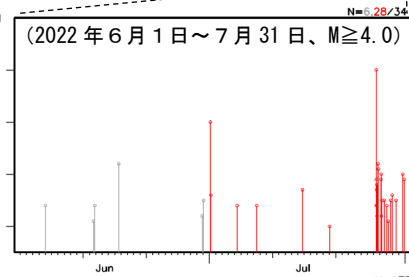
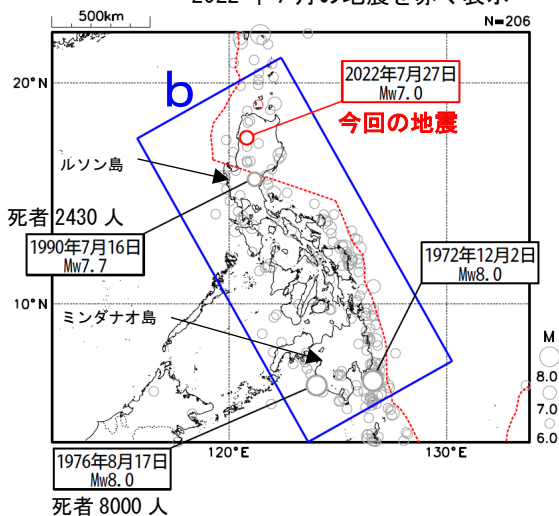
領域a内のM-T図



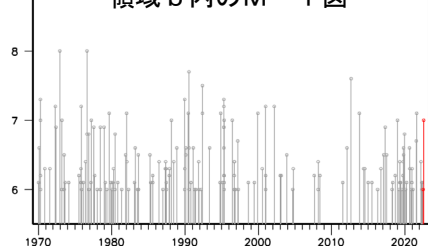
震央分布図

(1970年1月1日～2022年7月31日、深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ )

2022年7月の地震を赤く表示



領域b内のM-T図



※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁、また図中のその他の吹き出しの地震の Mw は GlobalCMT による (1972年12月2日の地震を除く)。その他の震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による (2022年8月9日現在)。また今回の地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による (2022年8月9日現在)。その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) \*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.